

2015年7月23日

「核兵器のない世界へ」大きな共同を

長崎県原水協活動交流ニュース
〒850-0035 長崎市元船町5-11 長崎民商会館ビル402
TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102
Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp

「ねばり強く共同してがんばりましょう」と田上市長 NPT再検討会議ニューヨーク行動を田上長崎市長へ報告」



7月22日(水)長崎被災協、生協連と長崎県原水協は市庁舎を訪ねNPTニューヨーク行動の報告をしました。被爆者の田中重光さんは平和市長会議「広島・長崎集会」に参加し、その中で国連軍縮担当次席代表のバージニア・ガンバさんの「世界は今核の十字路口に立っている。核兵器の近代化も懸念する。しかし核兵器のない世界を求める動きは世界で大きく広がっている。それは勇気をもって核被害を世界に訴えてきた被爆者に感謝する。被爆者の運動から勇気もらった。」との発言には大変励まされた報告。NPT参加者はそれぞれ全員が報告や参加した感想を述べました。市長は私たちの草の根の運動を大きく評価し、大きな意味のある、小さな外交であり、自治体や草の根での行動は国際的にも大きな役割をはたす時代だ、ねばり強く共同してがんばりましょうと私たちを励ましました。

そして、国連や国際社会、各国政府も「核兵器全面禁止」へと実効性のある枠組みを求める流れは圧倒的であり、日本政府の姿勢を変えることが必要だとも述べました。

それを受けて県原水協の大矢代表理事はアピール署名のポスターにも顔写真を載せて協力いただいた市長へお礼を述べ、その署名を国連ニューヨークへ633万余筆を、アンゲラ・ケイン国連軍縮担当上級代表やNPT再検討会議の議長になられるフェルーキさんへ届けたことを報告しました。

参加者は「ニューヨーク行動への思いが伝わったようだ。」「市民レベルの行動が理解され、今後の運動での協力共同は広がりそうだ。」「政府の変えるという発言もっと強調してほしい。」「との感想と同時に、世界の反核世論が大きくなっている中での「70年目の夏」の世界大会、成功への決意も新たにしました。